

# 常総学院同窓会々報

発行 / 常総学院高等学校同窓会 編集 / 同窓会会報編集委員会  
委員長 / 飯田晃久 印刷 / 株式会社大鵬社



## ご挨拶



常総学院高等学校同窓会  
会長 飯田 晃久

多くの人々に感動を与えて頂きました。これからの活躍にも大いに期待しております。

さて、去る十月に閉幕した大阪・関西万博では、多くの同窓生も会場へ足を運ばれたと聞き及んでおります。世界が一つになったあの熱気は、私たちに大きな活力を与えてくれました。

一方で、今、社会では万博が残した「レガシー」をどう未来に活かすかが議論されています。

しかし、「レガシー」とは形ある建物や技術だけを指すものではありません。万博を通じて私たちが再確認した「対話の重要性」や「共に未来を創る意志」こそが、真に受け継ぐべき無形の財産であると感じております。

翻って私たちの同窓会を見つめてみますと、ここにも輝かしいレガシーが息づいています。それは、母校で共に過ごした時間、恩師からの教え、そして世代を超えて共有される「絆」という名の遺産です。時代がどれほど移り変わるろうとも、この「心のレガシー」を絶やすことなく、次世代の若き同窓生たちへと繋いでいくことが、私たちの果たすべき役割ではないでしょうか。

本誌が、皆様にとって懐かしい記憶を呼び覚まし、新しい繋がりを生む一助となることを願っております。本年も、皆様により一層のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げます。

同窓生の皆様、いかがお過ごしでしょうか。日頃より本会の活動にご理解・ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。  
お手元に届いたこの会報誌が、皆様にとって学生時代の記憶を呼び覚ます「招待状」のような存在であればと制作を続け、本誌で二十五回目の発行を迎えることが出来ました。  
昨年も卒業生の輝かしい活躍が多く届いた一年となりました。

三十七期生大川慈英さんが北海道日本ハムファイターズから一位指名を受けました。今年から素晴らしい活躍してくれることでしょう。三十六期生青木もえさんは西京銀行に所属し、バドミントンで活躍しており、桃田賢斗さんをはじめ錚々たる選手とともにバドレジェンド大会に出場し多くの観客を沸かせてくれました。四十期生坂田丹蜜さんは日本学生選手権において女子3m飛び込みで優勝を果たし、大学一年生ながらインカレで大活躍をしています。四十一期生中澤心暖さんは、在学時のインターハイで200メートル平泳ぎの大会新記録を樹立し、インターハイを制しました。皆さんの活躍は卒業生に限らず、

## 常総学院高等学校同窓会 公式LINEアカウント開設のお知らせ

昨年度より、主にホームページでの情報発信に注力して参りましたが、部活動の活動実績やタイムリーな情報公開を目的として公式LINEアカウントを開設しました。ホームページとあわせて、携帯で見やすい情報展開を目指して参ります。ご意見ございましたら、ぜひお問い合わせフォームより皆様のお声をお聞かせください。



←ご登録はこちらから!

LINE友だち追加方法

- ①左のQRコードを読み取る
- ②常総学院高等学校同窓会アカウントが表示されますので「友だち追加」をタップ
- ③友だち登録完了!

## 地域清掃活動への協賛

40期卒業生による地域清掃活動を実施しました。実行委員長の中島さんの呼びかけにより、卒業後にもかかわらず50名を超える卒業生が参加し、清掃活動に取り組みました。さらに、土浦ライオンズクラブ、同窓会、本校教職員を含め、延べ80名を超える方々が集まり、実施しました。

当日は、ペットボトルなどのポイ捨てゴミだけでなく、タイヤや自転車、冷蔵庫といった不法投棄と思われる粗大ごみも数多くありました。それでも2時間以上にわたり、学校周辺および荒川沖駅からの通学路を中心に清掃を続け、最終的には2トントラック2台分に及ぶゴミを回収することができました。

清掃活動後には、中島さんから「きれいにすることで、ゴミを捨てる人は罪悪感を覚え、捨てにくくなるはずです。捨てられるはずだった未来のゴミも拾うことができた」との言葉があり、参加者一人ひとりに多くの気づきがあった様子でした。

今後も地域社会への貢献を通して、子どもたちと共に「学び」の場を作り続けていきたいと考えています。今年も土浦ライオンズクラブの皆様ならびに同窓会の皆様より、お弁当や豚汁、お菓子の差し入れをいただきました。温かいご支援に心より感謝申し上げます。



## 常総屋今年も出店!

今年も同窓会幹事による出店「常総屋」は、多くの来場者でにぎわい、大盛況となりました。唐揚げとおしるこは例年通り大好評で早々に完売し、メタバースを活用したガチャガチャ企画も大変好評で、子どもたちの笑顔があふれる様子が見られました。運営にご協力いただいた幹事の皆様、ありがとうございました。

また生徒会役員および文化祭実行委員による本部企画として、「和バウムクーヘン工房つか本」様のご協力をいただき、毎年恒例となっている常総オリジナルバウムクーヘン(塩レモン・チョコ・抹茶・イチゴ)の販売を行いました。当日は、大変好評のうちに完売となりました。



## オフィシャルグッズ 販売中!

同窓会では、常総学院のオフィシャルグッズを制作・販売しております。

現在は、ポロシャツを臙脂、ネイビー、白の3パターンでご用意しております。

サイズもSS~5Lまで揃えておりますので、ご興味ある方は、ホームページよりご注文ください。



# 高校生便り

## 生徒会長 挨拶

中島 サラ萌奈

生徒会長の中島サラ萌奈です。

私は、中高一貫コースに所属しており、勉強と生徒会の役割を両立させながら、充実した学校生活を送っています。

私は、高校1年生の時に、生徒会副会長として、学校の様々な行事に取り組んできました。

生徒会としての仕事は、初めての経験ばかりで、戸惑うことも失敗してしまいうことも多々ありました。

しかし、優しい先輩方や周りの先生方に支えてもらいながら、現在は生徒会長としての役割をこなしています。

生徒側の最高責任者としての責任は重く、常友祭等の学校行事では不安になることも多いですが、自分の言動に自信を持って行動し、「絶対成功できる」と強く信じることで気持ちを落ち着かせ、冷静に対処することができるということに気づけました。

私が生徒会長でいられる残りの期間は、自身の成長とともに、卒業した後も先輩方が築きあげてきた伝統を受け継ぎ、もっと活気のある、そして過ごしやすい学校にできるように精進して参りますので、どうぞよろしくお願いたします。



## 全国高等学校総合体育大会 200m平泳ぎ優勝

中澤 心暖

水泳部は各自が所属クラブごとに練習を行うため、全員が集まる機会は多くありません。しかし、そのような環境の中でも互いに声を掛け合い、支え合うチームワークのある部です。私が特に印象に残っている大会は三年時のインターハイで、200m平泳ぎでは大会新記録で優勝、400m個人メドレーでも準優勝することができました。一年生や二年生のときの悔しい経験から多くを学び、三年目で結果を残すことができたことで、三年間の努力が報われたと感じています。

この経験を通して、OBOGの皆さまをはじめ多くの方々への支援や、部一丸となった応援の大きさを改めて実感しました。大学でも競技力だけでなく人間力の向上を目指し、結果という形で恩返しをしていきたいです。



## 全国高等学校総合体育大会 女子シングルス出場

関口 七咲

テニス部は、応援されるチームを目指しており、遅くまで練習するだけでなく礼儀や挨拶をしっかりとるように心がけています。

今年の目標は女子団体で2年連続関東大会出場、個人では3年連続インターハイ出場を目標にしています。平日は短い練習時間でも集中して取り組んでいます。また、女子は週1回細谷コーチの指導を受け技術だけではなく体力面やメンタル面もきたえてもらい1勝でも多く勝てるよう日々練習に取り組んでいます。

OBOGの方々にはいい報告ができるよう頑張りますので応援よろしくお願いたします。



# 中学生便り

令和7年度NHK全国学校  
音楽コンクール  
茨城県コンクール 銀賞



合唱団は今年から活動を始めました。コンクール前の練習では、最初はみんなが別々の歌を歌っているような状態でしたが、練習を重ねるうちに、少しずつ声がそろい、合唱らしくなってきました。初めて挑戦した「TBSこども音楽コンクール」では、全員がとても緊張していましたが、その後も練習を続け、次の「Nコン」では、2回目のコンクールということもあり、落ち着いて歌うことができました。その結果、銀賞をいただくことができました。

磯部 圭吾

英語プレゼンテーション  
フォーラム県大会  
茨城県知事賞 受賞



私は今年の夏、英語のプレゼンテーションフォーラムに参加しました。テーマについて意見を出し合い、スライドを作り、英語で発表しました。質問したり答えたりも英語で行いました。中学に入ってから初めて英語を学び、1年生の頃は苦手でしたが、先生に質問しながら努力を続け、少しずつできるようになりました。その頑張りが校内代表につながったと思います。練習では発音に苦戦しましたが、仲間教えてもらい流暢に話せるようになり、夏休みも協力して練習を重ねました。その結果、優勝することができました。この経験で英語に自信がつき、もっと上達したいという気持ちが強くなりました。これからも学習を頑張ります。

末田 菜々子

第16回いつしよに読もう！  
新聞感想コンクール  
優秀賞 受賞



受賞の知らせを受けた時、僕の心は小さな羽をつけ、パタパタと音を立てた。新聞をめくる手が思わず止まった記事との出会い。生まれたばかりの妹の存在や、念願のアンバサダーとしての活動が、家族と話を交わす中で新聞に描かれた情報を超えたアイデアに繋がった。ネットニュースはスピード感があり便利だが、じっくりとページをめくりながら文字を辿る指先から情報が心に飛び込んできると、新聞には、情報に熱量がある。さらに新聞は精査された情報だからこそ、読み手も言葉をじっくりと読み解く。秒単位で情報が更新され多大な情報を受け流す時代において、貴重な読後感をも与える新聞。皆さんも新聞を手に取り新たな世界を発見してみませんか。

仙波 奏真

成長へのヒント



先日卒業生である清水研志さんに勉強の心構えについての講演をしていただきました。

清水さんは勉強をすることで自分の視野と可能性を広げることができると話していました。

私は課題を終わらせることが目的となってしまう勉強が作業と化していますが、この話を聞いてからは成長につながることを意識して勉強するようになりました。

さらに、清水さんは先生の話素直に受け止めて試すということが成長につながることを教えてくれました。また、自分に回ってきたチャンスは必ず掴むことが大切だと聞き、早速この会報誌を書くことに挑戦しています。

これからは素直さとチャレンジ精神を大切にしながら、勉強や様々なことに励んでいきたいです。

中崎 悠成

活躍する卒業生

卒業生便り



2 入学後に変わった意識

実際に入学してからは、中学時代と比べて野球に対する姿勢、私生活、そして文武両道への意識など、すべてにおいてレベルが一段階上がりました。周囲の意識の高さが、自分を引き上げてくれたと感じています。

3 コロナ禍で感じていたこと

当時はコロナ禍で、先輩方の夏の大会や選抜が中止になりました。その姿を見ているのは正直辛く、ポジティブな感情はあまり持てなかつたです。ただ個人的には、その期間のトレーニングが自分の急成長につながったとも感じています。

「今、自分がやるべきことをやるだけ」と言い聞かせながら過ごしていたので、結果的には決してネガティブな期間ではありませんでした。

4 在学中のターニングポイント

自分の代になってから、公式戦で投げ始めたことです。それまでは公式戦で登板することがなく、初めてマウンドに立ったとき、少しずつボールの質が上がっていくのを実感しました。そこから、プロなど野球を続ける進路について考えられるようになりました。

5 勉強面について

高校では定期試験の順位が貼り出されるので、文武両道ができていたと思います。中学時代は順位が明確に分かりませんでした。が、廊下に順位が貼り出されることで、「負けたくない」という気持ちが強くなりました。これは、自分の負けず嫌いな性格に合っていたと思います。

6 大学進路と学部選択

最終学年の頃、「プロ野球選手になりたい」という目標が明確になりました。そこで、プロ野球選手の輩出実績が高い明治大学を選びました。

学部については、自分の名前(ジェイ)や将来の海外生活も視野に入れ、英語を重点的に学べる国際日本学部を志望しました。

7 大学進学後に感じたこと

入学後は、同級生との英語力の差を強く感じました。帰国子女や留学経験者も多く、学方面では一番下からのスタートでしたが、こどもで負けず嫌いな性格が生きました。

周囲が英語で自然に会話している姿を見て、「かっこいいな」と思い、勉強へのモチベーションが一気に高まりました。

8 大学野球を振り返って

良い時期と悪い時期がはっきり分かれた、まさに半々の大学野球生活でした。どん底まで落ちた時期もありましたが、「自分で考えること」を大切に、指導者や野球関係者に積極的に質問する中で、多くのことが変わっていききました。

先輩の宗山墨さん(現・楽天イーグルス)が、食事管理まで徹底している姿を見て、自分も体づくりを意識するようになりました。体が細い分、まずは食事から強い体を作ることが心がけています。

9 大学で一番の思い出

4年生の秋季リーグ戦です。ずっと勝てなかった早稲田大学に1-0の完封勝利で優勝を決めた試合は忘れられません。一人ではなく、複数投手でゼロに抑えられたことが本当に嬉しかったです。

さらに、全勝優勝は明治大学野球部として29年ぶりという記録でもあり、強く印象に残っています。

10 甲子園球場と神宮球場の違い

全然違いますね。甲子園では打たれたことがありませんが、神宮ではホームランを打たれた経験もあります。神宮は打球が上がると、ホームランゾーンに吸い込まれていく印象です。

11 甲子園を一言で

「明暗が分かれる場所」だと思います。勝てばすべてが輝き、負ければその結果が大きく注目される。1回戦でタイブレーク勝利を経験し、2回戦で大差負けも経験したことで、怖さも知った場所です。

12 神宮球場を一言で

味方にも敵にもなる球場ですね。風向きの影響が大きく、簡単にホームランが入ることもあります。その環境を「運」で片付けず、味方につけることが必要な球場だと思っています。4年間の良い思い出も悪い思い出も詰まった、特別な場所です。

常総学院からプロへ

野球人生を振り返って

37期生 大川 慈英さん

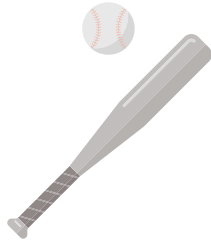
1 常総学院に進学を決めた理由

一番は「ご縁」でした。自分の中での条件は、甲子園を目指すこと、そしてレベルの高い高校に進学すること。その中で常総学院とご縁があり、進学を決めました。正直に言うと、当時は「自分のレベル以上の学校だな」と感じていたのを覚えています。



### 13 同窓生の皆さんへ

これからはプロ野球選手として北海道日本ハムファイターズで腕を振っていきたいと思います。今後とも、変わらぬご声援をよろしく願います。



茨城工業高等専門学校  
副産学連携センター長  
第16期生 片岡隆史さん

### 1 はじめに

第16期卒業生の片岡隆史と申します。茨城工業高等専門学校(以下、茨城高専)の副産学連携センター長を務めております。常総学院高等学校・進路指導部長の谷川義宜先生とは同級生で、在学時代は、休日によく一緒にカラオケに行ったり、食事をしたり、とても仲良くさせていただきました。私にとって今でもかけがえのない思い出です。

私は高校卒業後、大学・大学院へと進学し、修了後は日本製鉄株式会社(旧社名・新日本製鉄株式会社)という鉄鋼メーカーに入社し、鉄鋼材料の研究開発に携わっております。2024年4月より、茨城高専の教員として第二の人生を歩み始めております。実際に教職に就いてみると、教育の奥深さとともに、やってみて初めてわかる難しさを痛感する毎日です。当時、私を指導してくださった先生方の並々ならぬ努力と情熱に、改めて深い敬意を抱いております。

### 2 現在の活動

私は現在、産業界で培った実務経験や知見を活用し、茨城高専にて次世代のイノベーション育成に取り組んでおります。その中で、特に注力しているのが、プロジェクト型学習(以下、PBL: Project-Based Learning)です。PBLとは、特定の課題解決をプロジェクトとして捉え、その解決を有期的に取り組むという学習手法で、近年注目を集めております。しかしPBLは、学習者や教育者の認知的負荷が大きく、その実践の難しさが指摘されてきました。

こうした課題認識の下、私は生成AIの活用をベースにした、新しい形のPBLを着想しました(AI・PBLと呼称しております)。生成AIの活用により、従来は実践が難しかったとされるPBLを、質・量の両面で高められるのではないかと考えたのです。ただし、生成AIは強力な技術であるがゆえ、「諸刃の剣」でもあります。その扱いにおいて、慎重になり過ぎるということはありませぬ。そこで私たちは、「生成AIを、思考を省くためではなく、思考を深めるために活用する」という理念を掲げております。

具体的には、まずは生成AIを極力使用せずに、学習者自身が課題解決のアイデアを設定します(図1)。そして得られたアイデアを、生成AIとともに高度化・具体化し、社会実装レベルに持っていくきます。この二段階のPBLプロセスによって、人間と生成AIとの協働による価値共創が生まれます。学生たちは、学会や高専GRS SDSx Technology Contest等で、得られた成果の発表をしております。最近では、勝田中等教育学校との生成AI連携イベントが開催されるなど、私たちの活動は、地域全体にも波及しつつあります(図2)。今後、他の学校、行政の方々や産業界の方々も巻き込みながら、産学官連携型の人材育成ネットワークを構築していきたいと思っております。

### 3 むすび

身近な材料として鉄鋼が活躍できているのは「靱性(じんせい)」という特性によるものが大きいです。あまり聞きなれない言葉かもしれませんが、靱性とは「靱(しな)やかさ」のことで、簡単に言えば「壊れにくさ」です。硬いだけの鉄鋼材料は、負荷がかかるとすぐに壊れてしまい、鉄鋼本来の強さが発揮されません。これは人間も一緒に、人間らしく活躍していく上で、「靱(しな)やかさ」を持つことが重要だと思っております。そしてこの「靱(しな)やかさ」は、若い時期に迷いや悩みを克服する経験によって形作られるものだと思います。在学当時、私が迷い悩んでいた時、先生方や友人がいつも寄り添ってくださいました。そのおかげで、私は迷いや悩みを克服することができ、結果として「靱(しな)やかさ」を得ることができたように思います。改めて、常総学院高等学校ならびに関係の皆様へ深く感謝申し上げます。母校のさらなるご発展を心よりお祈り申し上げます。本稿の結びとさせていただきます。ありがとうございました。



図1



図2



図3

# 進路指導室より

進路指導部長 谷川 義宜(16期生)

同窓生の皆様には、日頃より本校の教育活動にご支援いただき、誠にありがとうございます。

昨年度は記念すべき40期生の卒業生を送り出しました。

40期生も「歴代の進路実績を追い越そう！」と挑戦してくれた学年でした。特に印象的だったのは、総合型選抜・学校推薦型選抜といった、いわゆる年内入試への取り組みです。

在籍生徒の志望校調査の結果、本校で最も人気のある大学は筑波大学です。例年、学年の13%前後(約70~80名)の生徒が入学時から筑波大学を志望しています。しかし、大学受験が近づくにつれ、学力に不安を感じて志望校を下げてしまう生徒も多く、最終的には志望者が2/3~1/2程度に減ってしまいます。

しかし昨年度の40期生は、入学時に約90名が筑波大学を志望しており、最終的に学校推薦型選抜(公募推薦)では約50名が出願しました。例年は25名程度ですので、圧倒的な多さです。当時、本校生のおよそ10人に一人が筑波大学に推薦で挑戦している状況を想像すると、「進学校」と自称しても恥ずかしくない進路意識を生徒たちが持っているのだと改めて気付かされました。

残念ながら筑波大学に出願した生徒全員が合格したわけではありませんが、学校推薦型選抜では過去最多となる9名の合格につながりました。やはり、挑戦する意欲を持ち続けることが、第一志望合格を実現するために最も効果的なのでしょう。

一般選抜を終え、昨年度の最終的な合格実績は、東京大学1名(4年連続)、京都大学2名(既卒生)、千葉大学(医学部医学科)などの最難関大学をはじめ、筑波大学13名(医学群医学類含む)、茨城大学39名、茨城県立医療大学4名など国立大学109名、早慶上理39名、GMARCH84名となりました。特に近年は既卒生の最難関大学合格者が増えており、現役時に実現できなくても初志貫徹しようとする高い気概を持つ生徒が増えていることは、現役志向が強い現代において良い兆しとも言えます。もちろん、現役で合格させてあげたかったという学校側の反省点はあります。

さて、平成後期から始まった大学入試改革により、大学受験の全体像も大きく変わってきました。直近4年間では、学年約600名に対し、総合型選抜・学校推薦型選抜の受験件数が700件近くに増えています。これらの試験では志望理由書、面接、小論文、探究活動などが求められ、教科学力だけでは合格できません。大学受験の多様化は生徒たちの可能性を広げる一方で、様々な取り組みが以前よりも消化不良になってしまう恐れも孕んでいます。そのような状況を打破するために、私たちの指導も日々改善していかなければなりません。

今年度より進路指導部では、教員・生徒に対して生成AI(ChatGPT、Gemini等)を積極的に業務や教育・学習活動に活用するよう働きかけています。進路指導という individual な課題に対し、生成AIは個別最適に働いてくれます。とりわけ生成AIの利用に伴うハレーションなどのリスクを逆手に取り、批判的思考(critical thinking)など多様な思考法を養う訓練に活用することで、利用前よりもディスカッション能力に秀でた人材に成長できると考えています。どの時代においても、他者と関わりながら相互に成長できるかは社会人として重要な要素です。生成AIは、自宅で一人のときであっても、友人や師のように振る舞い、学びを助けてくれます。これからも私たちのかけがえのない協働学習の相棒となってくれることでしょう。

また、キャリア教育においては、本校元来の難関大学進学に加え、現在では海外大学進学も視野に入れるグローバル進路選択を生徒に紹介しています。個人の多様性を認めるならば相応に進路選択もそうあって欲しい。一生に一度の人生だからこそ、子ども達にはネガティブな枠組みから解放たれて巣立って欲しいのです。

学校という場、そして学校の先生という存在は、次代の社会を担う生徒たちの指針であるべきです。子どもたちは私たちの背中を見て成長します。彼らが挑戦し、成長し続ける人物になれるよう、私たち教員も彼ら以上に強い意志を持ち、挑戦と成長を続けたい——そのような思いです。

社会をよく知らないと言われる学校の先生が、社会の第一線で活躍する生徒たちを育てるといふ、いささか皮肉な構図が現代の学校教育です。その点においては、ぜひとも同窓生の皆様のご協力を賜りたいと考えています。

進路講演をはじめ、本校の教育活動にご協力いただける方がいらっしゃいましたら、ぜひご助力いただければ幸いです。引き続き本校の教育活動にご理解・ご協力を頂きますよう宜しくお願い致します。



### 四年制大学過去5年間(2021~2025)合格実績

#### ■国公立大学

大学名	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	計
北海道	0	0	0	3	0	3
東北	0	2	0	0	1	3
秋田	2	0	2	1	1	6
山形	2	0	0	2	1	5
茨城	21	26	35	31	39	152
筑波	6	11	13	11	13	54
宇都宮	1	0	0	1	2	4
群馬	1	1	1	0	1	4
埼玉	1	1	2	0	3	7
千葉	2	1	2	3	3	11
お茶の水女子	0	1	0	0	1	2
電気通信	1	1	1	1	0	4
東京	0	2	2	2	1	7
東京医科歯科	0	0	2	0	0	2
東京外国語	0	1	0	1	0	2
東京海洋	0	1	0	1	2	4
東京学芸	1	1	3	1	2	8
東京工業	2	0	0	0	0	2
横浜国立	0	0	0	1	2	3
富山	0	1	0	0	0	1
信州	1	2	1	0	0	4
大阪	0	0	1	1	0	2
京都	0	0	0	0	2	2
島根	1	0	0	0	0	1
岡山	1	0	0	0	0	1
愛媛	0	0	0	1	1	2
高知	0	0	2	0	1	3
鹿児島	0	0	0	1	0	1
琉球	1	1	1	1	0	4
国際教養	0	0	0	1	0	1
福島県立医科	1	0	0	0	1	2
茨城県立医療	2	3	1	2	4	12
群馬県立健康科学	1	0	0	0	0	1
群馬県立女子	1	0	0	0	0	1
高崎経済	1	0	1	3	1	6
前橋工科	2	1	1	0	1	5
埼玉県立	2	0	0	0	1	3
東京都立	1	0	1	2	0	4
新潟県立	0	0	3	1	2	6
都留文科	0	2	4	1	1	8
長野	1	0	2	0	0	3
長野県立	1	0	0	0	0	1
その他	29	14	31	27	22	123
計	86	73	112	100	109	480

#### ■文科省管轄外大学校

大学名	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	計
防衛医科大学校	0	1	2	1	2	6
気象大学校	0	0	1	0	0	1
防衛大学校	19	23	24	14	15	95
その他	13	0	9	7	1	30
計	32	24	36	22	18	132

#### ■私立大学

大学名	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	計
早稲田	5	13	7	2	14	41
慶應義塾	2	6	5	3	5	21
上智	6	5	7	7	5	30
東京理科	26	17	26	27	15	111
早慶上理	39	41	45	39	39	203
学習院	9	17	12	8	13	59
明治	20	19	21	11	11	82
青山学院	5	7	9	11	8	40
立教	6	11	8	10	18	53
中央	12	24	15	21	10	82
法政	15	30	37	30	24	136
GMARCH	67	108	102	91	84	452
成蹊	3	4	3	2	2	14
成城	2	2	1	7	2	14
明治学院	4	5	3	9	6	27
國學院	5	7	7	5	13	37
武蔵	2	3	2	4	4	15
成成明園武	16	21	16	27	27	107
日本	34	33	41	26	34	168
東洋	13	14	23	45	40	135
駒澤	9	16	22	11	13	71
専修	12	9	16	11	9	57
日東駒専	68	72	102	93	96	431
津田塾	0	2	1	2	1	6
東京女子	2	4	5	8	2	21
日本女子	3	6	2	8	7	26
学習院女子	0	1	2	6	1	10
聖心女子	3	4	2	1	3	13
昭和女子	1	3	7	3	7	21
大妻女子	7	7	11	6	7	38
共立女子	8	7	9	5	17	46
有名女子大	24	34	39	39	45	181
芝浦工業	4	15	37	2	7	65
工学院	3	2	4	8	6	23
東京電機	10	16	13	7	10	56
東京都市	2	12	5	10	2	31
四工大	19	45	59	27	25	175
北里	4	5	5	6	1	21
杏林	8	8	4	3	2	25
国際医療福祉	11	19	12	8	21	71
埼玉医科	4	1	2	0	0	7
自治医科	0	2	0	0	0	2
昭和	3	3	0	2	3	11
昭和薬科	0	0	1	0	1	2
順天堂	8	9	14	6	7	44
東京医科	1	0	0	1	1	3
東京女子医科	1	1	1	2	2	7
東京薬科	1	3	3	5	1	13
東邦	8	7	4	8	9	36
日本赤十字看護	1	0	0	0	0	1
星薬科	0	0	0	2	4	6
明治薬科	12	4	0	0	2	18
薬学医療系	62	62	46	43	54	267
関西	0	0	0	0	1	1
同志社	2	4	2	1	1	10
立命館	0	5	6	0	4	15
関関同立	2	9	8	1	6	26

その他多数

#### ■医学部医学科

大学名	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	計
【国公立大学・大学校】						
東京医科歯科	0	0	1	0	0	1
北海道	0	0	0	1	0	1
秋田	0	0	0	0	1	1
筑波	0	1	2	1	1	5
千葉	0	0	0	0	1	1
山形	0	0	0	2	0	2
高知	0	0	0	0	1	1
福島県立医科	0	0	0	0	1	1
防衛医科大学校	0	1	1	0	1	3
計	0	2	4	4	6	16
【私立大学】						
金沢医科	0	1	0	0	0	1
岩手医科	0	0	0	0	1	1
国際医療福祉	0	0	0	1	1	2
獨協医科	0	2	1	0	3	6
埼玉医科	2	0	1	0	0	3
杏林	0	2	1	2	1	6
北里	2	0	1	0	0	3
東京慈恵会医科	0	0	0	1	0	1
順天堂	0	0	0	1	0	1
昭和	0	0	0	1	0	1
聖マリアンナ医科	0	1	2	0	2	5
帝京	1	0	0	0	0	1
関西医科	0	0	0	1	0	1
日本	1	0	0	0	2	3
日本医科	1	0	1	0	0	2
久留米	1	0	0	0	0	1
計	8	6	7	7	10	38

# 部活動活動実績

## ■硬式野球部

- 第77回春季関東地区高等学校野球茨城県大会 **優勝**
- 第77回春季関東地区高等学校野球大会 **出場**
- 第107回全国高等学校野球選手権茨城大会 **ベスト4**



## ■吹奏楽部

- 第65回茨城県吹奏楽コンクール県地区大会 **優秀賞**
- 高校生の部 **C部門**
- 第65回茨城県吹奏楽コンクール高校生の部 **A部門**
- 金賞 **朝日新聞賞**
- 第31回東関東吹奏楽コンクール高校生の部 **A部門**
- 金賞
- 第60回茨城県アンサンブルコンテスト県南地区大会 **優秀賞**
- フルート4重奏
- 第60回茨城県アンサンブルコンテスト県南地区大会 **優秀賞**
- クラリネット8重奏
- 第60回茨城県アンサンブルコンテスト県南地区大会 **優秀賞**
- サクソス4重奏

- 第60回茨城県アンサンブルコンテスト **金賞**
- フルート4重奏 **朝日新聞賞**
- 第60回茨城県アンサンブルコンテスト **金賞**
- クラリネット8重奏
- 第60回茨城県アンサンブルコンテスト **金賞**
- サクソス4重奏



## ■男子バドミントン部

- 関東高等学校バドミントン大会 **ベスト8**
- 団体
- 全国高等学校総合体育大会バドミントン協議 **2回戦出場**【山口 智央】
- ダブルス **2回戦出場**【坪井 太志】
- ジュニアオリンピックバドミントン大会茨城県予選会 **優勝**【坪井 太志】
- シングルス **優勝**【坪井 太志】
- ジュニアオリンピックバドミントン大会 **ベスト32**【坪井 太志】
- シングルス
- 茨城県高等学校秋季バドミントン大会 **優勝**【見玉 拓心】
- ダブルス **優勝**【乾 煌成】
- ダブルス **準優勝**【伊藤 智陽】
- ダブルス **準優勝**【檜山 誠太】

## ■女子バドミントン部

- 関東高等学校バドミントン大会 **ベスト8**
- 団体
- 全国高等学校総合体育大会バドミントン競技 **出場**【早間 愛実】
- シングルス **ベスト32**【海津 希楓】
- ダブルス **ベスト32**【富田 桃愛】
- ダブルス **ベスト16**【富田 桃愛】
- ダブルス **ベスト16**【高玉 幸佳】
- ダブルス **ベスト16**【富田 桃愛】
- 第44回全日本ジュニアバドミントン選手権大会 **2回戦進出**【樋口 丹里】
- シングルス **ベスト32**【田中 美月】
- ダブルス **ベスト16**【高玉 幸佳】
- ダブルス **ベスト16**【富田 桃愛】
- 第63回関東総合バドミントン選手権大会 **2回戦進出**【樋口 丹里】
- シングルス **出場**【樋口 丹里】
- ダブルス **3回戦進出**【早間 愛実】
- ダブルス **出場**【早間 愛実】
- 国民スポーツ大会バドミントン競技 **ベスト8**
- 団体
- 関東高等学校選抜バドミントン大会 **ベスト16**【樋口 丹里】
- シングルス **ベスト8**【海津 希楓】



## ■水泳部

- 第61回茨城県民総合体育大会水泳競技大会 **男子・女子総合優勝**
- 団体
- ダブルス **ベスト8**【早間 愛実】
- ダブルス **ベスト8**【早間 愛実】
- ダブルス **ベスト8**【高玉 幸佳】
- ダブルス **ベスト8**【富田 桃愛】
- 400m自由形 **3位**【石川 達也】
- 100m背泳ぎ **2位**【佐藤 夕果】
- 200m個人メドレー **2位**【佐藤 夕果】
- 200m平泳ぎ **1位**【中澤 心暖】
- 400m個人メドレー **2位**【中澤 心暖】
- 400m個人メドレー **1位**【村山 萌】
- 400m個人メドレー **1位**【村山 萌】
- 400m自由形 **1位**【村山 萌】
- 50m自由形 **3位**【上野 優芽】
- 400m自由形 **1位**【菅原 靖汎】
- 400m自由形 **1位**【菅原 靖汎】
- 200m自由形 **3位**【森山 風沙】
- 200m自由形 **1位**【中澤 桃菜】
- 400m自由形 **2位**【中澤 桃菜】
- 50m自由形 **1位**【塚本 大樹】
- 100m背泳ぎ **1位**【福地 柊吾】
- 200m背泳ぎ **1位**【福地 柊吾】
- 100mバタフライ **1位**【塚本 大樹】
- 200mバタフライ **1位**【吉村 花歩】
- 100m背泳ぎ **2位**【吉村 花歩】
- 200m背泳ぎ **2位**【堀本 陽菜梨】
- 800m自由形 **2位**【堀本 陽菜梨】
- 100mバタフライ **2位**【本田 渚虹】
- 200mバタフライ **2位**【齋藤 海遥】
- 200m背泳ぎ **3位**【齋藤 海遥】
- 200m平泳ぎ **3位**【藤村 康生】
- 200m平泳ぎ **2位**【平田 大輔】
- 女子4×100mフリーリレー **1位**【吉村 花歩】
- 女子4×200mフリーリレー **1位**【中澤 心暖】
- 女子4×100mメドレーリレー **1位**【堀本 陽菜梨】
- 男子4×100mフリーリレー **1位**【塚本 大樹】
- 男子4×200mフリーリレー **1位**【塚本 大樹】
- 男子4×100mメドレーリレー **1位**【福地 柊吾】
- 第76回関東高等学校水泳競技大会 **女子総合5位**
- 団体 **200m平泳ぎ** **※大会新** **1位**【中澤 心暖】

400m個人メドレー 2位〔中澤 桃菜〕  
 女子4×100mフリースタイル 2位〔中澤 心暖〕

※茨城県新記録

全国高等学校総合体育大会水泳競技大会 1位〔中澤 心暖〕  
 200m平泳ぎ

※茨城県新記録

400m個人メドレー 2位〔中澤 心暖〕  
 女子4×200mフリースタイル 5位〔中澤 桃菜〕

※茨城県新記録

第48回JOCジュニアオリンピック夏季水泳競技大会 1位〔中澤 心暖〕  
 200m平泳ぎ

400m個人メドレー 2位〔中澤 心暖〕

※茨城県新記録

400m個人メドレー 1位〔村山 萌〕  
 200m平泳ぎ 2位〔村山 萌〕

第79回滋賀国民スポーツ大会水泳競技大会 2位〔中澤 心暖〕  
 少年女子A 200m平泳ぎ

第11回アジア選手権(2025アイメダバード) 2位〔中澤 心暖〕  
 200m平泳ぎ

400m個人メドレー 2位〔中澤 心暖〕  
 100m平泳ぎ 3位〔中澤 心暖〕

第67回日本選手権(25m)水泳競技大会 4位〔中澤 心暖〕  
 100m平泳ぎ

※茨城県高校新記録

200m平泳ぎ 3位〔中澤 心暖〕

※茨城県新記録・茨城県高校新記録

100m個人メドレーB 決勝4位〔村山 萌〕

400m個人メドレー 出場〔村山 萌〕

ジャパンオープン2025 6位〔中澤 心暖〕  
 400m個人メドレー 8位〔中澤 心暖〕  
 200m平泳ぎ 決勝6位〔中澤 心暖〕

100m平泳ぎB 8位〔中澤 心暖〕

200m個人メドレー 出場〔村山 萌〕

400m個人メドレー 出場〔村山 萌〕

200m平泳ぎ 出場〔村山 萌〕

■ 剣道部

県南春季剣道大会 準優勝

女子団体 3位

第58回茨城県高等学校剣道勝ち抜き大会

女子団体2部

■ 男子バレーボール部

第79回関東高等学校男女バレーボール大会 ベスト8  
 茨城県予選会

全国高等学校総合体育大会男女バレーボール ベスト16  
 競技大会茨城県予選会

第8回茨城県ジュニアビーチバレーボール大会 B準優勝  
 茨城県予選会

第33回関東私立高等学校男女バレーボール 出場  
 選手権大会

第78回全日本バレーボール高等学校選手権大会 ベスト8  
 茨城県予選会

第31回全国私立高等学校男女バレーボール ベスト6  
 選手権大会茨城県予選会

茨城県高等学校男女バレーボール新人大会 ベスト16



■ 女子バレーボール部

第79回関東高等学校男女バレーボール大会 ベスト16  
 茨城県予選会

全国高等学校総合体育大会男女バレーボール ベスト8  
 競技大会茨城県予選会

天皇杯・皇后杯JVA全日本バレーボール選手権大会 ベスト8  
 茨城ラウンド

第78回全日本バレーボール高等学校選手権大会 ベスト8  
 茨城県予選会

第31回全国私立高等学校男女バレーボール 出場  
 選手権大会茨城県予選会

茨城県高等学校男女バレーボール新人大会 ベスト8

■ サッカー部

全国高等学校総合体育大会サッカー競技 優勝選手  
 茨城県予選会

第104回全国高校サッカー選手権大会 残留  
 茨城県予選

2025年IFAU 2部リーグ 残留  
 2025年IFAU 3部リーグ

茨城県高校サッカー新人大会 ベスト32



■ ラグビー部

茨城県高校ラグビー新人戦大会 出場  
 都県対抗戦

茨城県代表として出場

関東高校ラグビー茨城県予選 出場  
 全国高校ラグビー7人制大会茨城県予選

ベスト8

ベスト8

ベスト8

■ 応援指導部

多賀谷時代まつり演技出演 7位

大学応援団フェスタ観覧

高校野球茨城県大会応援

学祭TSUCHIURA演技出演 5位

学校見学会演技披露

東京六大学 六旗の下に観覧

■ チアリーダー部

ダンスドリル秋季競技大会 出場

USA Regional 2025 東京大会 出場



■ パワーリフティング部

第16回春季つくばカップベンチプレス選手権大会

女子 2位【大森 彩愛】

女子 優勝【強瀬 菜乃葉】

男子66kg級 3位【下村 紡】

男子59kg級 3位【鈴木 寛統】

男子66kg級 優勝【神保 諒人】

男子93kg超級 2位【柴原 龍斗】

男子66kg級 2位【秋葉 琉伸】

女子 優勝【佐藤 美羽】

男子93kg超級 2位【清水 暖晃】

女子 2位【高野 瑛莉菜】

男子59kg級 2位【横瀬 大地】

男子団体 優勝

女子団体 優勝

女子 3位【大沼 千紗】

女子 2位【高野 瑛莉菜】

女子 優勝【強瀬 菜乃葉】

女子 優勝【大森 彩愛】

女子 優勝【佐藤 美羽】

女子 3位【古谷 優歩】

女子 2位【増田 帆菜美】

女子 優勝【笹沼 瑠凪】

女子 3位【追切 冬獅】

男子59kg級 2位【鈴木 寛統】

男子59kg級 優勝【横瀬 大地】

男子66kg級 優勝【神保 諒人】

男子74kg級 3位【堤 悠旅】

男子83kg級 優勝【星野 航】

男子83kg級 2位【荒井 望亜】

男子93kg超級 優勝【柴原 龍斗】

アジアアフリカ太平洋パワーリフティング選手権大会

スクワット部門 優勝【佐藤 美羽】

総合 3位【佐藤 美羽】

世界サブジュニアクラシックパワーリフティング選手権大会

出場【佐藤 美羽】

第43回全日本高等学校パワーリフティング選手権大会

準優勝

女子団体 優勝

女子 2位【高野 瑛莉菜】

女子 優勝【強瀬 菜乃葉】

女子 優勝【佐藤 美羽】

女子 3位【古谷 優歩】

男子59kg級 2位【増田 帆菜美】

男子59kg級 優勝【笹沼 瑠凪】

女子団体 優勝

女子 3位【大森 彩愛】

女子 優勝【強瀬 菜乃葉】

女子 2位【大沼 千紗】

女子 3位【笹沼 瑠凪】

男子59kg級 3位【篠崎 禪ノ介】

女子 優勝

男子59kg級 優勝

女子 2位【大森 彩愛】

女子 優勝【強瀬 菜乃葉】

女子 2位【大沼 千紗】

女子 優勝【笹沼 瑠凪】

女子 3位【古谷 優歩】

女子 優勝【追切 冬獅】

男子59kg級 2位【佐川 怜】

男子74kg級 2位【飯田 純史】

男子59kg級 優勝【鈴木 寛統】

男子74kg級 2位【神保 諒人】

男子66kg級 3位【下村 紡】

男子66kg級 優勝【荒井 望亜】

男子83kg級 2位【笠原 透真】

男子83kg級 3位【中原 若真】

男子83kg級 優勝

女子 2位【追切 冬獅】

女子 2位【鈴木 寛統】

■ ソフトボール部

茨城県高等学校ソフトボール春季大会

優勝

茨城県高等学校ソフトボール大会茨城県予選会

優勝

第51回関東高等学校男子ソフトボール大会

出場

茨城県高等学校総合体育大会

優勝

ソフトボール競技大会

出場

全国高等学校総合体育大会

ソフトボール競技大会

出場

第78回国民スポーツ大会関東ブロック大会

ソフトボール競技少年男子

出場

茨城県代表選手として出場

茨城県代表選手として出場

茨城県代表選手として出場

茨城県代表選手として出場

茨城県代表選手として出場

茨城県代表選手として出場

茨城県代表選手として出場

茨城県代表選手として出場

茨城県代表選手として出場

茨城県代表選手として出場

茨城県代表選手として出場

茨城県代表選手として出場

茨城県代表選手として出場

茨城県代表選手として出場

茨城県代表選手として出場

茨城県代表選手として出場

茨城県代表選手として出場

茨城県代表選手として出場

茨城県代表選手として出場

茨城県代表選手として出場

茨城県代表選手として出場

茨城県代表選手として出場

茨城県代表選手として出場

茨城県代表選手として出場

茨城県代表選手として出場

茨城県代表選手として出場

茨城県代表選手として出場

■ 陸上部 (短距離他)

茨城県南地区高等学校陸上競技大会

女子4×100mリレー

優勝

茨城県南地区高等学校陸上競技大会

女子4×100mリレー

優勝

茨城県南地区高等学校陸上競技大会

女子4×400mリレー

優勝

茨城県南地区高等学校陸上競技大会

女子4×400mリレー

優勝

茨城県南地区高等学校陸上競技大会

女子4×400mリレー

優勝

茨城県南地区高等学校陸上競技大会

女子4×400mリレー

優勝

茨城県南地区高等学校陸上競技大会

女子4×400mリレー

優勝

茨城県南地区高等学校陸上競技大会

女子4×400mリレー

優勝

茨城県南地区高等学校陸上競技大会

女子4×400mリレー

優勝

茨城県南地区高等学校陸上競技大会

女子4×400mリレー

優勝

茨城県南地区高等学校陸上競技大会

女子4×400mリレー

優勝

茨城県南地区高等学校陸上競技大会

女子4×400mリレー

優勝

茨城県南地区高等学校陸上競技大会

女子4×400mリレー

優勝

茨城県南地区高等学校陸上競技大会

女子4×400mリレー

優勝

茨城県南地区高等学校陸上競技大会



男子バスケットボール部

関東高校バスケットボール大会  
茨城県南A地区予選会

出場

全国高校総体バスケットボール競技  
茨城県南A地区予選会

優勝

全国高校総体バスケットボール競技茨城県予選会  
第78会全国高校選手権大会 (Winter Cup 2025)  
茨城県南A地区予選会

ベスト32  
優勝

茨城県予選会  
茨城県南A地区予選会

ベスト16  
優勝

茨城県南A地区予選会

準優勝

茨城県南A地区予選会

出場

茨城県南A地区予選会

優勝

茨城県南A地区予選会

優勝

茨城県南A地区予選会

出場

茨城県南A地区予選会

出場

茨城県南A地区予選会

準優勝

テニス部

関東大会県南予選

優勝

男子団体

優勝

女子団体

優勝

男子団体

優勝

女子団体

優勝

男子団体

優勝

女子団体

優勝

男子団体

優勝

女子団体

優勝

男子団体

優勝

女子団体

優勝

弓道

茨城県高等学校弓道春季県南大会

優勝

男子団体

3位

女子団体

5位

男子個人

5位

女子個人

4位

男子個人

5位

女子個人

4位

男子個人

5位

女子個人

4位

男子個人

5位

女子個人

4位



※東日本高等学校弓道大会出場

茨城県高等学校弓道秋季県南大会

3位

男子団体

優勝

女子団体

優勝

男子個人

5位

女子個人

4位

男子個人

5位

女子個人

4位

男子個人

5位

女子個人

4位

茨城県高等学校弓道春季個人選手権大会

出場

女子個人

10位

男子個人

出場

女子個人

出場

男子個人

出場

女子個人

出場

男子個人

出場

女子個人

出場

男子個人

出場

茨城県高等学校弓道冬季大会

出場

女子個人

5位

男子個人

5位

女子個人

5位

男子個人

5位

女子個人

5位

男子個人

5位

女子個人

5位

男子個人

5位

茨城県高等学校弓道冬季大会

出場

女子個人

5位

男子個人

5位

女子個人

5位

男子個人

5位

女子個人

5位

男子個人

5位

女子個人

5位

男子個人

5位

茨城県高等学校弓道冬季大会

出場

女子個人

5位

男子個人

5位

女子個人

5位

男子個人

5位

女子個人

5位

男子個人

5位

女子個人

5位

男子個人

5位

茨城県高等学校弓道冬季大会

出場

女子個人

5位

男子個人

5位

女子個人

5位

男子個人

5位

女子個人

5位

男子個人

5位

女子個人

5位

男子個人

5位

茨城県高等学校弓道冬季大会

出場

女子個人

5位

男子個人

5位

女子個人

5位

男子個人

5位

女子個人

5位

男子個人

5位

女子個人

5位

男子個人

5位

茨城県高等学校弓道冬季大会

出場

女子個人

5位

男子個人

5位

女子個人

5位

男子個人

5位

女子個人

5位

男子個人

5位

女子個人

5位

男子個人

5位

茨城県高等学校弓道冬季大会

出場

女子個人

5位

男子個人

5位

女子個人

5位

男子個人

5位

女子個人

5位

男子個人

5位

女子個人

5位

男子個人

5位

茨城県高等学校弓道冬季大会

出場

女子個人

5位

男子個人

5位

女子個人

5位

男子個人

5位

女子個人

5位

男子個人

5位

女子個人

5位

男子個人

5位

茨城県高等学校弓道冬季大会

出場

女子個人

5位

男子個人

5位

女子個人

5位

男子個人

5位

女子個人

5位

男子個人

5位

女子個人

5位

男子個人

5位

茨城県高等学校弓道冬季大会

出場

女子個人

5位

男子個人

5位

女子個人

5位

男子個人

5位

女子個人

5位

男子個人

5位

女子個人

5位

男子個人

5位

茨城県高等学校弓道冬季大会

出場

女子個人

5位

男子個人

5位

女子個人

5位

男子個人

5位

女子個人

5位

男子個人

5位

女子個人

5位

男子個人

5位

茨城県高等学校弓道冬季大会

出場

女子個人

5位

男子個人

5位

女子個人

J R C

かずみがうらマラソン兼  
国際フラインドマラソン2025

団体 ボランティア参加

日赤北関東三県支部国際交流派遣事業

個人 選抜【村野 杏】

青少年赤十字リーダーシップ・  
トレーニング・センター

個人 参加↓青少年赤十字スタディ・センター選抜  
【佐藤 優亜】

茨城県青少年赤十字指導者協議会

個人 副会長に任命【村野 杏】

土浦クローバーフェス

団体 ボランティア参加



つくばピースフルヨガフェスティバル・  
筑波山麓ジャズフェスティバル

団体 ボランティア参加

いはらきK1ライド

団体 ボランティア参加

NHK歳末たすけあい募金

団体 募金活動

つくば献血ルーム呼び込みボランティア

団体 ボランティア参加

茨城県私立中学高等学校保護者会連合会善行表彰

団体 受賞

青少年赤十字スタディ・センター

個人 代表参加【佐藤 優亜】

SDGs QUESTみらい甲子園

団体 茨城県ファイナリスト選出

美術部

第69回全日本学生美術展

個人 佳作入選【吉野 胡桃】

第26回全高校生国際美術展

個人 奨励賞【上原 怜菜】

茨城県高等学校総合文化祭 美術工芸の部

個人 入選【山口 稟史】

第78回土浦市美術展覧会

個人 出展【上原 怜菜】

個人 出展【檀 菜月】

個人 出展【岡野 悠華】

写真部

茨城県高等学校総合文化祭美術展 写真部門

個人 県教育長賞【池永 凜】

個人 県教育長賞【元井 悠太】

個人 県教育長賞【田端 菜々子】

個人 県教育長賞【武藤 日苗子】

個人 県教育長賞【増尾 咲幸】

個人 県教育長賞【水野 桜彩】

個人 県教育長賞【野上 那由加】

個人 県教育長賞【宮嶋 ちさと】

第2回カラフルフォトリンピック

個人 銅賞【田端 菜々子】

茨城建設フォトコンテスト

個人 U 22特別賞【田端 菜々子】

競技かるた部

茨城県高等学校演劇連盟

団体 準優勝

第32回関東地区高等学校小倉百人一首かるた大会

個人 出場【齊藤 ふみの】

個人 出場【千國 裕希子】

個人 出場【中村 香乃】

個人 出場【幡 小夏】

個人 出場【井関 美緒】

個人 出場【冷岡 花梨】

個人 出場【安間 智美】

個人 出場【寺内 璃渚】

個人 出場【北園 結依】

演劇部

茨城県高等学校演劇連盟

第38回県南A地区高等学校演劇祭

団体 優良賞



令和7年度 常総学院高等学校同窓会役員

役職	期卒業	氏名	役職	期卒業	氏名
会長	1	飯田 晃久	校内幹事	3	飯塚 康弘
副会長	2	伊藤 哲也	校内幹事	4	櫻井 直己
副会長	4	伊沢 勝徳	校内幹事	4	仲野谷 宗治
副会長	4	泉 琢磨	校内幹事	5	磯部 和弘
副会長	6	山口 大武	校内幹事	8	田中 光恵
幹事	1	酒井 覚	校内幹事	9	大海 聖賀
幹事	3	塚崎 雅之	校内幹事	11	青柳 隆雄
幹事	4	藤野 明美	校内幹事	12	片山 章
幹事	6	永井 一正	校内幹事	16	牧野 絵美
幹事	6	塚本 勝則	校内幹事	16	谷川 義宜
幹事	6	浅倉 正道	校内幹事	16	大久保 実
幹事	11	平井 修司	校内幹事	19	松林 康徳
幹事	16	高中 学	校内幹事	20	櫻井 堯史
幹事	17	上原 拓也	校内幹事	22	相澤 理沙
幹事	18	藤岡 誠	校内幹事	22	川越 まり
幹事	19	中川 弘一郎	校内幹事	23	中島 成美
幹事	21	櫻井 勝	校内幹事	25	塚田 菜
幹事	21	妹川 侑介	校内幹事	25	柴山 紗矢香
幹事	24	乙高 優人	校内幹事	26	萩原 奈緒
幹事	25	内田 大樹	校内幹事	26	清和 潤
幹事	26	高野 萌香	校内幹事	31	千代 絃之
幹事	30	横川 みなみ	校内幹事	31	出澤 美和
幹事	30	邊春 祥宏	校内幹事	32	中島 健吾
幹事	32	藤野 和輝	校内幹事	32	樽谷 三奈
幹事	34	高野 俊也	校内幹事	33	小島 奈々花
幹事	37	酒井 春樹	校内幹事	34	秋山 愛結
幹事	37	高橋 美百	校内幹事	34	谷野 優香
幹事	38	千葉 万緒里	特別会員	-	小松崎 栄治
幹事	38	周東 愛翔	特別会員	-	杉田 慎吾
幹事	38	古谷 太	特別会員	-	熊田 定由
幹事	39	矢作 純平	特別会員	-	荒井 幸恵
幹事	39	古谷 元	特別会員	-	大毛 道弘
幹事	40	中島 ティワン宗	特別会員	-	坂入 裕一
幹事	40	萩原 尊子	顧問	-	大久保 政行
監事	10	植田 美幸	顧問	-	櫻井 平
監事	5	前川 信史	顧問	-	壁谷 恵
監事	27	國井 伸二郎	顧問	-	坂田 英一

■令和7年度 常総学院高等学校同窓会予算書  
(令和7年4月1日～令和8年3月31日まで)

▼収入の部 (単位:円)

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
1. 会費	9,770,000	7,290,000	2,480,000	
卒業生会費	150,000	990,000	▲840,000	
在校生会費	9,620,000	6,300,000	3,320,000	終身会費 40%(192人)
2. 雑収入	100,000	100,000	0	
3. 特別修繕引当金繰入	30,000,000	0	30,000,000	※1
4. 前年度繰越金	34,050,628	74,310,447	▲40,259,819	
収入の部計	73,920,628	81,700,447	▲7,779,819	

▼支出の部 (単位:円)

科目	予算額	前年度予算額	増減	備考
1. 消耗品費	100,000	100,000	0	
2. 通信運搬費	1,000,000	1,500,000	▲500,000	
3. 印刷製本費	1,500,000	500,000	1,000,000	
4. 会議費	500,000	500,000	0	
5. 旅費交通費	500,000	300,000	200,000	
6. 部活動奨励費	5,000,000	5,000,000	0	
7. 記念品費	1,500,000	1,500,000	0	
8. 広報費	2,000,000	2,000,000	0	
9. 行事費	1,000,000	10,000,000	▲9,000,000	
10. 雑費	500,000	500,000	0	
11. 特別修繕引当金	30,000,000	0	30,000,000	※1
12. 次年度繰越金	30,820,628	59,800,447	▲28,979,819	
支出の部計	73,920,628	81,700,447	▲7,779,819	

※項目間の彼此流用することができる。

※1 特別修繕引当金について

学校の施設老朽化による近い将来の修繕にむけて今期より修繕費の引当を始める。  
利用用途・金額については、都度会長の判断により決定するものとする。

**悪質な電話や振り込み詐欺にご注意ください!**

同窓会事務局を名乗って、電話やメールなどで金銭等を支払わせる事件が多発しております。  
不審なメールや電話、勧誘や調査の名目であっても即答はせず必ず同窓会事務局へ  
お問い合わせください。

令和7年度 常総学院高等学校同窓会会務分担表

担当	本部役員	学校	主な業務	担当	本部役員	学校	主な業務	
総務	副会長 泉 琢磨 酒井 覚 藤野 明美	飯塚 康弘 仲野谷 宗治 櫻井 堯史	会議の招集・設営・進行 同窓会の総括的業務	事務局	副会長 伊沢 勝徳	内田 大樹 高野 萌香 横川 みなみ 邊春 祥宏 藤野 和輝 高野 俊也 酒井 春樹 高橋 美百	青柳 隆雄 片山 章 田中 光恵 櫻井 直己 大久保 実	事務局と相互連携
経理	副会長 伊藤 哲也	永井 一正 塚本 勝則	予算編成と執行・決算 諸会費等の徴収	監事	植田 美幸	前川 信史 國井 伸二郎	本会会計の監査	
会報	副会長 山口 大武	平井 修司 高中 学 上原 拓也 藤岡 誠 櫻井 勝 妹川 侑介 乙高 優人	会報の編集・発行	<b>令和7年度 常総学院高等学校同窓会事業</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高校ならびに中学校新入生に生徒手帳を寄贈</li> <li>・部活動奨励費の支給</li> <li>・観葉植物の寄贈、ボランティア活動などSDGsを通じた学校との連携並びに補助</li> <li>・公式LINEならびにホームページ運営と機能拡張</li> <li>・同窓会会報誌発行</li> <li>・卒業生へのコサージュ寄贈</li> <li>・常総屋の運営、卒業生などによる同窓会主催講演会の実施</li> <li>・同窓会開催時の祝金支給</li> <li>・地域清掃活動への協賛</li> <li>・同窓会関連のグッズの作成ならびに販売</li> <li>・そのほか卒業生による活動への助成等</li> </ul>				

※当会の会則については、ホームページをご参照ください。

一人ひとりの目標に応える魅力的な学びが **常総学院** にある

## 特進選抜コース エクセレント(Ex)クラス

東京大学や医学部医学科・早慶上理など、超難関大学への合格をめざす

## 特進選抜コース 特進クラス

旧帝大をはじめとする、難関国公立大学への合格をめざす

## 進学選抜コース プロGRESS

発展的なカリキュラムで、多様なニーズに対応

## 進学選抜コース フロンティア

オールラウンドに挑戦し、有名大学への合格をめざす

## 中高一貫コース

多様な体験で未来を生きる力へ、6年一貫カリキュラムで優位な進路選択へ



**個別見学、随時受付中!! (要予約)**  
お気軽に入試広報部までお問い合わせください。



学校法人 **常総学院**

〒300-0849 茨城県土浦市中村西根1010番地  
TEL 高校 029-842-8771(代)・中学校 029-842-0708(代)

詳しくは、ホームページをご確認ください。

常総学院

検索

<https://joso.ac.jp/>

## 編集後記

卒業すると母校の様子を知る機会は少なくなるのですが、街中で臙脂の制服を見かけたり、ニュースで校名を目にした際、ふと懐かしさが込み上げてくるのではないのでしょうか。

常総学院は、高等学校が創立四十三年度、中学校が創立三十年目という大きな節目を迎えました。同窓生の皆様におかれましては、各方面でのご活躍、心よりお慶び申し上げます。

今年度も無事に同窓会誌を発刊できましたことは、偏に原稿をお寄せいただいた卒業生の皆様、そして多大なるご協力をいただいた在校生・教職員の皆様のおかげです。編集委員を代表し、厚く御礼申し上げます。

さて、近年力を入れております公式LINEやホームページでの情報発信も、多くの皆様にご登録いただき、大変ご好評を博しております。変化の激しい現代において、母校との「繋がり」が卒業生の皆様にとつての誇りや心の拠り所となるよう、今後もタイムリーかつ温かみのある広報を続けて参ります。今や二万五千人を超える本校卒業生のネットワークは、社会を支える大きな力です。この同窓会活動が、世代を超えた新たな交流のきっかけとなれば幸いです。

最後になりますが、現在常総学院同窓会事務局では、会報誌への寄稿やホームページ運営に携わっていただけの方を随時募集しております。母校のために、あるいは同窓生の輪を広げるために、お力添えいただける方はぜひ事務局(029-842-8771)または公式サイトのお問い合わせ窓口までご連絡ください。

皆様の益々のご健勝とし多幸を祈念いたしまして、編集後記とさせていただきます。

同窓会校内幹事代表 松林 康徳  
編集委員一同